句集

室町

小原芳子

本阿弥書店

句集

室町

江苏工业学院图书馆
藏书章

小原芳子

本阿弥書店

句集　室町　むろまち
一九九八年九月十九日初版発行
著　者　小原芳子
発行者　本阿弥秀雄
発行所　有限会社本阿弥書店
東京都千代田区猿楽町二―一―八
三恵ビル　〒一〇一―〇〇六四
☎〇三（三二九四）七〇六八
印　刷　熊谷印刷
製　本　松栄堂製本所
定　価　本体二八〇〇円（税別）
©Yoshiko ohara 1998
ISBN4-89373-329-X（1216）

序

毎年、春になると池田市では市民文化祭が催される。その俳句部門の選を私はしばらく担当していたが、その應募句のなかに毎年きまってすぐれた句を出して入選する人達があるのに気がついた。そのうちのひとりが小原芳子さんで句に対する感覚ははじめから具わっている感じだった。「草苑」に入会したのは昭和六十一年だが、それまでも俳句は勿論のこと趣味は広く、謡、鼓、茶道、俳画など、また音楽が好きで宝塚歌劇への入試を受けて合格したが家族の反対にあって止むなく断念したという経歴から察しても芸道の血を受けついで居られることがわかる。今回、十二年間の句をまとめて句集を出されるに当り、句稿に目を通したが、いずれも優れた句で、落とす句がほとんど無くて困った。

「題名を」と言われて私はすぐ『室町』と反射的に答えたが、小原さんは京都の

生れで代々中京に住み父上は伊藤万の別家として繊維業にたずさわって来られた。京都から大阪の船場に移り、そのうち戦争が起こり、学徒動員に狩り出されといったことはその頃、学校に通っていた方はたいてい経験ずみだろう。小原さんもまた同じような運命にあって会社も工場も被災。家を箕面市桜が丘に移したが今度はその住宅が米軍に接収され又現在の池田市に移轉というさまざまな出来事に出会われるのである。しかし小原さんの胸中には、幼ない頃の京都の家の思い出が棲みついていて離れないのである。それが小原さんの句の根幹をなしていることは、この句集をよめばよくわかる。『室町』ととっさにいったのはそういう理由からで、室町は京呉服の問屋が軒をつらねている京都のなかの京都といえる土地柄である。七月十七日は祇園祭で京都中が沸き立つが、小原さんの心もたぶん京都恋しさに揺れうごいたことであろう。

夏茶碗池の真中のひかりをり

この句をみた時、私はすぐ小原さんの京都のお家だと直感した。薄暗い奥の間に茶を点てている女人と池のある庭、あとできいてみるとやはりその通りだった。

试读结束，需要全本PDF请购买 www.ertongbook.com

墓庭におぼえの一樹あり

という句もある。また次の句は京都のお家か現在のお家かちょっとわからないがこうしたお家に幸福な家庭をきずき日々を過ごして居られる小原さんなのである。

敷物の跡ある畳夏木立

夏布団闇よりたちし樹の匂ひ

夏座敷松のあたりの冥さかな

杉戸絵の奥に人声風炉名残

一本の見頃にひらき白襖

奥の間の昏さに馴れし薄暑の樹

庭石や雨の涼しき昼の客

洛中の雲金箔や夏屏風

格子戸の奥に奥ある白絣

式台の拭きあと粗き風炉名残

あげればきりもないがいずれの句も風格がある。ことに

一本の見頃にひらき白襖

などはむつかしいところをよくよんでいる。

寒松籟一枚硝子つらねけり

句会でこの句をみたとき、私の目の前に、いつかいった大磯プリンスホテルの庭の光景がまざまざと現れ「大磯のプリンスホテルのような光景ですね」と何気なしにいったら、小原さんは「そこで作りました」といって私を驚かした。私は小原さんが大磯へいった事も何も聞いていなかったのだ。何故、あの大磯プリンスホテルの光景が私の目の前にあらわれたのか、今でも不思議に思っている。このことは、春陽堂の「俳句文庫」のなかの村上護氏との対談で話したことがある。句には不思議な力があると思った。小原さんは天性のものに対する感覚に加えて好きなことにのめりこむ一途さをもっているが身体はあまり丈夫ではない。今後も身体を大切に

して、よき家庭にあって句を作っていただきたい。たぶん俳句は小原さんにとって一生の友となることであろう。

平成十年七月吉日

桂　信子

句集 室町＊目次

序文　桂信子　1
淡雪　11
夏屏風　43
初雁　83
笛袋　129
あとがき　184

装帧　海保　透

试读结束，需要全本PDF请购买 www.ertongbook.com

句集　室町

小原芳子

淡雪

昭和六一年—六三年

大輪の牡丹に山の日のいたみ

竹垣の結び目あらき立葵

梅雨じめる本の栞に赤い紐

肩肘をはれる容に宿浴衣

男の傘細身に巻いて祭笛

日覆ひの中照り返す新刊書

サングラス航跡を曳く潮の耀り

葛切りや古備前飾る店構

広縁や月の畳に布団展べ

试读结束，需要全本PDF请购买 www.ertongbook.com